

4 共通評価項目

評価対象 福祉サービスの基本方針と組織

- 1 理念・基本方針

- 1 (1)	理念、基本方針が確立されている。
- 1 (1)	理念が明文化されている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> 施設の社会的存在や信条が明文化されている。 	
- 1 (1)	理念に基づく基本方針が明文化されている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> 理念に基づく方針に、保育園の持つ役割や機能、保育に対する考え方が具体的に示されている。 <p>行動指針：六の S (SMILE SMART SPEEDY SINCERITY STUDY SPECIALITY)</p>	
- 1 (2)	理念や基本方針が周知されている。
- 1 (2)	理念や基本方針が職員に周知されている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> 理念や基本方針が職員に周知されており、職員の行動規範になっていることが確認できる。 	
- 1 (2)	理念や基本方針が利用者等に周知されている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> 理念や基本方針が、職員のみならず保護者や地域住民、関係機関等に周知されている。 	

総合評価 A

・法人の理念や基本方針が職員等に明確に示され、確実に浸透している。また、園が社会資源として機能していることが確認できた。

- 2 計画の策定

- 2 (1)	中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。
- 2 (1)	中・長期計画が策定されている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・中・長期計画が確実に策定され、実行可能となっている。 	
- 2 (1)	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・収支の推移や環境整備などを把握し、計画年度に反映している。 	
- 2 (2)	計画が適切に策定されている。
- 2 (2)	計画の策定が組織的に行われている。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> ・開設して間もないことから、これまでは施設長の強いリーダーシップのもとで、スピーディにすすめてきたが、これからは職員の提言や意見等を積極的に取り入れ、中長期計画や事業計画等を策定されることを期待する。 	
- 2 (2)	計画が職員や利用者に周知されている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・職員や保護者の理解がなければ計画の達成はできない。計画達成のためのなお一層の理解促進と日々の研鑽を期待する。 	

総合評価 A

- ・中長期的な収支見込を掌握し、適切な健全経営を目指した将来計画が明確に示されている。

- 3 管理者の責任とリーダーシップ

- 3 (1)	管理者の責任が明確にされている。
- 3 (1)	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> 施設をリードする管理職として、「報告・連絡・相談」を大切にし、適確な指示と責任を持つという意向を職員にはっきりと示している。 検食当番については「輪番制」を取り入れるなど、検食日誌の点検等のマンネリの打破を検討されたい。 	
- 3 (1)	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> 施設で適用される関係法律をリストアップし、職員間で共有されたい。 	
- 3 (2)	管理者のリーダーシップが発揮されている。
- 3 (2)	質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> 理念や基本方針を中心に据え、「木を見て森を育てる」のごとく、確実に課題改善に向けて取り組んでいる。 	
- 3 (2)	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> 常に業務の効率化や改善に努めるとともに、コストバランスの分析等も行い、継続的な取り組みに指導力を発揮している。 	

総合評価 A

・施設長の指導力は評価できる。運営コンセプトが浸透している。トップダウンの感はあるが、現在は過渡期であり、止むを得ない状況である。次世代への保育福祉のための管理者の熱意は十分伺うことができた。

評価対象 組織の運営管理

- 1 経営状況の把握

- 1(1)	経営環境の変化等に適切に対応している。
- 1(1)	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。
評価結果	A
・ 外的な動向を的確に把握し、事業計画等に反映させている。	
- 1(1)	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。
評価結果	A
・ 経営状況をシミュレーションし、分析している。	
- 1(1)	外部監査が実施されている。
評価結果	A
・ 会計事務所による外部監査を実施している。	

総合評価 A

・ 民営化されて、社会福祉法人としての独自の研究と社会福祉事業全体の動向、施設が位置する地域での需要動向、利用者数・利用者像等を把握して、経営環境の変化に適切に対応している。

- 2 人材の確保・養成

- 2 (1)	人事管理の体制が整備されている。
- 2 (1)	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・できることなら、障害者雇用について検討していただければと思う。 	
- 2 (1)	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・経営コンサルタントの指導を受けながら新たな人事考課制度を検討中であり、今後の成果を期待する。 	
- 2 (2)	職員の就業状況に配慮がなされている。
- 2 (2)	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・「ゆったりと、和気あいあい・・・」の言葉が似合い、職員の就労意欲の高さが伺えた。 	
- 2 (2)	福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・福利厚生センターに加入している。 	
- 2 (3)	職員の質の向上に向けた体制が確立されている。
- 2 (3)	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・「質の向上」への目標は、職員がよく理解している。 ・P-D-C-Aの取り組みをもう一步進められたい。 	

- 2 (3)	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され、計画に基づいて具体的な取り組みが十分に行われている。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> ・「福祉は人なり」であり、マンネリ化することなく、今後もP-D-C-Aで「職員の質の向上」に取り組まれることを期待する。 	
- 2 (3)	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・研修参加者の報告レポート等にもとづき、自らの職場を分析・評価し、さらなる質の向上を図られたい。 	
- 2 (4)	実習生の受け入れが適切に行われている。
- 2 (4)	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉サービスの担い手の育成は、施設の社会的責務の一つです。今後も継続されるようお願いしたい。 	
- 2 (4)	実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ準備段階から実習終了時までの各段階を通じて、実習効果のあがるマニュアルの見直しについて検討されたい。 	

総合評価 A

- ・児童福祉サービスの質の向上への考え方は、全職員共通の認識であることが確認できた。
- ・法人で規定している人事考課制度を改め、キャリアアップの視点を導入した新たな人事考課制度を検討されていることは評価できる。この人事考課が1) 職員の能力開発に活用され、2) 公正な職員処遇となり、3) 個々の意欲を喚起し、組織活性化につながるよう努められたい。

- 3 安全管理

- 3(1)	利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。
- 3(1)	緊急時（事故、感染症の発生時等）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・マンネリ化することがないよう、今後も見直しによる再発見に努められたい。 	
- 3(1)	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットは「管理強化」や「責任追及」ではなく、「要因追究」であることを理解し、ヒヤリハットの取り組みについて、早急に検討願いたい。 	

総合評価 B

・保育サービスの社会資源として、今後は「ヒヤリハット」による分析と危険箇所等を明示した「安全マップ」、「散歩道マップ」等を作成し、事故予防についての職員間の共有化と組織的な取り組みを通して、更なる「安全・安心」の精度を高められたい。

- 4 地域との交流と連携

- 4 (1)	地域との関係が適切に確保されている。
- 4 (1)	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校から老人クラブまで幅広く定期的な交流が行なわれている。 	
- 4 (1)	事業所が有する機能を地域に還元している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てサロンを実施し、ニーズに応えている。 	
- 4 (1)	ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもから老人までの定期的な人数の確保について検討されたい。 	
- 4 (2)	関係機関との連携が確保されている。
- 4 (2)	必要な社会資源を明確にしている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・ 性質別関係機関名簿一覧が作成されており、職員の共有化が図られている。 	
- 4 (2)	関係機関等との連携が適切に行われている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関との連携は適切に実施されている。 	

- 4 (3)	地域の福祉向上のための取り組みを行っている。
- 4 (3)	地域の福祉ニーズを把握している。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> ・ ニーズ把握はたいへん難しいが、日常の近所住民や自治会との関わり、様々な行事、民生委員・児童委員との連携、保護者の送迎時等の会話もヒントや参考になるので、そうした機会をとらえ、常に地域のニーズ把握に向けた努力や工夫をされたい。 	
- 4 (3)	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> ・ ニーズから独自性のある事業や活動を期待したい。 	

総合評価 A	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関とは確実に連携している。 ・ 地域の住民が、専門的技能をもつ「華陽保育園」に対して求めている支援や援助も多岐にわたっていると思われる。なお一層地域の具体的なニーズや社会の福祉ニーズの動向把握に努め、住民の期待に応える「独自性」の開発を期待したい。 	

評価対象 適切な福祉サービスの実施

- 1 利用者本位の福祉サービス

- 1 (1)	利用者を尊重する姿勢が明示されている。
- 1 (1)	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。
評価結果	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・保育方針である「豊かに表現できる子 思いやりのある子 元気な子」を入園案内時に明示している。 ・登園時に「送迎時児童チェック表」を活用し、伝達事項等の把握と共有化に努めるなどきめ細かな配慮をしている。 ・毎月の保育目標には基本方針・運営方針を具体化し、職員は行動指針（六つのS）に基づき、保育実践している。
- 1 (1)	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。
評価結果	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシー保護に関するマニュアルがあり、職員間で常に確認をしている。 ・子どもの家族環境やその他の個人情報等を不用意に会話したり、保護者の許可なくして他者に口外することがないように職員間で申し合わせている。
- 1 (2)	利用者満足の向上に努めている。
- 1 (2)	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。
評価結果	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次保育所民営化に係る第1回保護者アンケート結果及び「保護者アンケート自由意見集」の中のマイナス評価意見も前向きに受け止め、常に説明責任を含め、改善できる範囲内で迅速に対応している。 ・保護者とは常に意思疎通に努め、保育懇談会や個別相談、保護者役員会等に必ず参加している。また保育連絡帳や送迎時などを通し、全職員が保護者の要望や意見の把握に努めている。
- 1 (2)	利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。
評価結果	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・「保護者アンケートの自由意見集」に、「公立保育園から民間になって本当に良かった」との意見や、「いろいろな事情で時間通りにならない送迎を、今はどの先生方もにこやかに対応してくれて大きなストレスがなくなった」等、全職員で利用者満足に向けた取り組みを実践している。

- 1 (3)	利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。
- 1 (3)	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。
評価結果	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が相談や意見を述べられる部屋があり、常時相談できる体制を整えている。 ・送迎時や保育連絡帳等を活用するなど、保育園全体で保護者の意見が述べやすい環境に努めている。
- 1 (3)	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。
評価結果	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員を設置している。また苦情相談に関するポスターを玄関に掲示し、保護者等に周知している。 ・玄関に意見箱を設置し、苦情があった場合には内容を協議のうえ解決結果を公表している。
- 1 (3)	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。
評価結果	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者からの意見に対しては、法人が設置する「サービス点検調整委員会」において対応し、経過並びに結果を公表している。 ・問題点については、いろいろな専門家から指導を受け、常に課題改善に向けて取り組んでいる。

総合評価 A	
<ul style="list-style-type: none"> ・法人が設置運営する「サービス点検調整委員会」を基本に、利用者からの意見・苦情について迅速に対応し、即答できない場合は日を改めて回答している。 ・意見箱を玄関に設置するなど、利用者からの課題改善に向けた取り組みをしている。 	

- 2 サービスの質の確保

- 2 (1)	質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。
- 2 (1)	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価事業評価項目の中から、施設が「重要と思う項目」を取り上げ、法人としての自己評価を「標準化」してはどうか。検討されたい。 	
- 2 (1)	評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。
評価結果	C
<ul style="list-style-type: none"> ・今回の第三者評価事業の自己評価や評価結果から明らかになった課題をP-D-C-Aで取り組まれない。 	
- 2 (1)	課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。
評価結果	C
<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価事業で明らかになった課題の改善を通して、さらなる「保育福祉サービス」の質の向上に向けた取り組みを期待したい。 	
- 2 (2)	個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。
- 2 (2)	個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・保育課程並びに保育安全計画、年間保育計画、年間指導計画、障がい児年間個別指導計画、月別指導計画等があり、個々の保育場面において標準化されている。 	
- 2 (2)	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・保育年間指導計画から月案・週案へと、各年齢に沿った保育をクラス全体で実施している。 ・記録簿については岐阜市全体の様式 1、華陽保育園様式 2 と区別し、岐阜市全体の内容を踏まえながら、一人ひとりの子どもを尊重した保育を実践し、園の充実を図っている。 	

- 2 (3)	サービス実施の記録が適切に行われている。
- 2 (3)	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの保育状況は年間指導計画、個別指導計画、児童表に記録し、子ども一人ひとりの成長を捉えた保育をしている。 ・個別記録の記入にあたっては、クラス内の職員で子ども一人ひとりについて情報交換・意思統一、共通理解を図り、その後職員全体会議で共有化を図り記録している。 	
- 2 (3)	利用者に関する記録の管理体制が確立している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに関する記録の保管は、事務所及び各クラスの配慮のもと、園長の責任において整理、管理されている。 	
- 2 (3)	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに関する情報は、職員会議やリーダー会議を通し全職員が共有化に努めている。 ・送迎時児童チェック表や送迎時児童確認表の記録簿がある。これは「登園時の時間、園児の服装の色、降園時の時間、伝達事項、当日のクラスの人員」を確認できるもので、共有化を図る資料として評価できる。 	

総合評価 A

- ・第三者評価事業で実施した自己評価に、職員一人ひとりが主体的に参画されたことで、職員の意識改革と協働性が高まったと思う。評価結果を保護者にも報告され、両者との協働体制で施設長の目指す「華陽ブランド」の構築に向けて取り組まれることを期待する。
- ・保育年間指導計画から月案・週案へと、各年齢に沿った保育をクラス全体で実施し、記録簿も岐阜市全体の様式 1、華陽保育園様式 2 と区別し、岐阜市全体の内容を踏まえながら、一人ひとりの子どもを尊重した保育を実践し、園の充実を図っている。

- 3 サービスの開始・継続

- 3(1)	サービス提供の開始が適切に行われている。
- 3(1)	利用希望者に対してサービスの選択に必要な情報を提供している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等で利用者に必要なサービスを提供している。ホームページを見て入園する園児もいる。 ・見学や体験利用等の希望に対応しており、年々園児が増加している。 ・理念や保育方針等は、玄関に掲示されている。 	
- 3(1)	サービスの開始にあたり、利用者等に説明し同意を得ている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市で作成している「保育所入所あんない」と、園独自の資料をもとに「保育所についての相談及び家族状況の変更や退所について」主任保育士や事務員が詳細に説明している。 ・利用前の見学者や入園希望者には、当園の保育目標、年間行事予定表、保育内容等について詳細に説明している。 	
- 3(2)	サービスの継続性に配慮した対応が行われている。
- 3(2)	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・中途退園の場合は、児童票・健康診断など保育継続を損なわないように引継ぎ、申し送り、手順など転出先に報告している。必要に応じて電話対応もしている。 	

総合評価 A

- ・岐阜市共有の保育所入所案内、社会福祉法人としての案内、ホームページ、園だより等で、利用希望者に対し情報提供に努めており、入園希望者が増えている。
- ・「園児や保護者の保育園」であることを基本に据え、常に保護者に敷居の低い保育園づくりを心がけている。
- ・保育園を紹介する資料は、誰にでも分かりやすい内容であり、見学や体験希望者が増えている。サービス選択できる工夫や情報提供に努めている。

- 4 サービス実施計画の策定

- 4 (1)	利用者のアセスメントが行われている。
- 4 (1)	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始前に保護者説明会と個人懇談を行い、児童票・身体状況・生活状況等手順を決めて実施している。 	
- 4 (1)	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・個別記録や保育計画等の記録は、園長の提案でパソコンを使用し、月の評価(子どもの姿・家庭との連携・評価・満足点等)を詳細に記入している。 	
- 4 (2)	利用者に対するサービス実施計画が策定されている。
- 4 (2)	サービス実施計画を適切に策定している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・各種サービス実施計画の策定にあたっては、クラスの責任者がリーダーとなり、全体の調整は主任保育士を責任者として協議・検討している。 	
- 4 (2)	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりに対する保育の質の向上を図るため、毎月の保育計画記録、個々の記録、クラス状況等を評価、見直しをしている。 ・子どもの異変に気づいたときは、常に園長と担任が話し合い、親への援助や解決方法を検討している。 ・「親と仲良くなり些細な会話を大事にする」ことに心がけ、親支援・子支援・園運営に繋げている。 	

総合評価 A

- ・子どもの身体状況・生活状況等は、岐阜市の統一した記録様式と園が作成した様式を併用し、定期的に見直し、詳細に記録している。
- ・一人ひとりの子どもの特性に応じた保育に心がけ、個別指導案・指導計画・月案等の内容を協議・検討している。
- ・利用者の課題を個別ごとに討議し、全職員で確認する体制が整っている。

5 サービス評価項目

A - 1 子どもの発達援助

1 - (1)	発達援助の基本
A - 1 (1)	保育計画が、保育の基本指針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。
評価結果	A
・ 保育計画は、園の基本方針に基づき、年案、月案、週案へと適切に作成されている。	
A - 1 (1)	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。
評価結果	A
・ 指導計画は、月 1 回のリーダー会議や職員会議で意見交換をし、次の保育へと反映させている。	

総合評価 A

- ・ 園児が健康で安全に、情緒の安定した生活のできる環境を維持し、園児自身が自己を十分発揮しながら活動できるような保育を提供している。
- ・ 園児の実態を考慮した内容の保育計画を立てている。
- ・ 職員から行事後の評価と反省についてのアンケートを提出させ、次回及び次年度に反映させている。

1-(2)	健康管理・食事
A-1(2)	登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・園児一人ひとりの健康状態に関することは、児童票に入園当初から全て綴られているため、園児の発育や発達の経緯がよくわかるようになっている。 ・日々の園児の健康状態は、送迎時チェック表や連絡帳で把握し、必要事項は全職員に周知できる体制を整えている。 	
A-1(2)	健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・内科健診は年2回行い、個別記録や児童票に記入し、保育上の必要事項は全職員に周知している。保護者には連絡帳や「ほけんだより」等で伝達している。 	
A-1(2)	歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の歯科健診を実施し、看護師による歯科保健指導や歯みがき指導が実施されている。 ・歯みがき指導等は、歯科医師及び歯科衛生士による専門的指導をお勧めしたい。 	
A-1(2)	感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・感染症発生時に対応できるマニュアルが整備されている。 ・感染症が発症した場合は、看護師の指導のもとで発生状況を保護者や全職員に通知できる体制が整っている。 	
A-1(2)	アレルギー疾患を持つ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーについては入園申込書で把握し、専門医の意見書をもとに給食やおやつ、6時の軽食の献立表で保護者に除去食の確認をし、さらに給食担当や担任、看護師の再チェックを行なっている。 ・名簿を作成し、全クラスに配布して全職員が把握している。 ・アレルギー疾患をもつ園児は、専用の食器が用意されている。 	

A - 1 (2)	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・食べやすく切っただけなど、年齢に合わせ調理にいろいろな工夫をしている。 ・発育状況や体調を考慮したメニューの中での変更も可能である。 	
A - 1 (2)	食事を楽しむことができる工夫をしている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・バイキングや異年齢児と食事をするなど、食事を楽しむことに配慮した対応がなされている。また園庭で野菜を育て、収穫することにより関心を持たせる工夫がされている。 ・訪問当日はどのクラスも落ち着いて、楽しく食べている様子が確認できた。 	
A - 1 (2)	子どもの食生活を充実させるために家庭と連携している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・献立表は毎月保護者に配布するとともに、週2回給食サンプルを提示し、保護者に知らせるなど安心感を与えている。 	

総合評価 A	
<ul style="list-style-type: none"> ・専任の看護師による保健・健康管理を実施し、保護者に対して相談・指導ができ、安心安全の体制が整っている。 ・服薬について保護者は薬連絡書と薬剤情報提供書とともに提出する。薬は看護師が対応して、間違いがないように飲ませた報告もしている。 ・月1回の「なかよし会」では、職員が寸劇や紙芝居等を実施し園児に生活指導を行っている。 ・アレルギー疾患をもつ園児及び保護者に対して、除去食の再チェックを行い、事故のないよう細心の注意をはらっている。 	

1-(3)	保育環境
A-1(3)	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・園児の年齢に合わせて利用しやすいように整備されている。 	
A-1(3)	生活の場にふさわしい環境とする取り組みを行っている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・園児に対して、保育士が十分に配慮されている。 ・園児の安全確保のために、玩具・遊具の消毒、安全点検を実施している。 	

総合評価 A	
<ul style="list-style-type: none"> ・建物は老朽化しているが、清潔と整理整頓に心掛けて、快適な環境を整えるための配慮がされている。 ・トイレは園児が利用しやすいように改修されている。 	

1-(4)	保育内容
A-1(4)	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。
評価結果	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・園児一人ひとりを理解できるよう全職員が把握し対応されている。 ・どの園児も明るく活発な様子がかがえ、また落ち着きも見られ、きめ細やかな保育を実践されているように思われる。
A-1(4)	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。
評価結果	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・園児一人ひとりの生理現象のリズムに合わせ、基本的な生活習慣が確立できるように指導計画が取り組まれている。
A-1(4)	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。
評価結果	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・園児が自発的に活動したり、好きなおもちゃで自由に遊べるよう配慮がされている。
A-1(4)	身近な自然や社会と関われるような取り組みがなされている。
評価結果	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩マップをもとに戸外に出かけ、自然や社会と関われるように園外保育を実践している。
A-1(4)	様々な表現活動が自由に体験できるように配慮されている。
評価結果	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した作品等は工夫して飾られ、保育に活かされている。

A - 1 (4)	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢の交流も活発に実践されている。 ・給食当番を始めとした当番活動などの役割を果たせる取り組みがされている。 	
A - 1 (4)	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるように配慮している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の園児も在籍しているため、他の文化に自然に接することができる。 	
A - 1 (4)	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないように配慮している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・先入観による固定的な保育は実践されていない。 	
A - 1 (4)	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・乳児室は広く、乳児保育が適切に実施できるように配慮されている。 ・月齢にあった指導計画や個別指導についての記載がされている。 ・0歳児、1歳、2歳児連絡帳は、年齢に合った内容で保護者との連絡を密にされている。 ・マニュアルはあるが、分かりやすいように見直しされたい。 	
A - 1 (4)	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状況については、チェック表に記載し適切に引き継ぎがされている。 ・異年齢の園児同士で遊ぶことにより、兄弟姉妹の少ない園児には、貴重な体験の場になっていると思われる。 ・園児の生活のリズムに配慮された軽食が提供されている。 ・軽食についても、除去食が提供されている。 	

A - 1 (4)	障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児指導計画があり、月 1 回の専門の先生から指導内容など記載されている。また担任だけでなく職員全員が同じように取り組めるよう共通理解している。 	

<p>総合評価 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児一人ひとりの状況を把握し、生活習慣の確立や園児の自発性を育てることなどを指すため、職員全員が連携をとり確実に保育されている。 ・「英語教室」、「スポーツ教室」、「手話教室」の 3 教室を開設しているが、3 歳児からは「スポーツ教室」と「英語教室」、4 歳児からは 2 教室の他に「手話教室」に参加でき、成果を上げている。 ・障害児への関わりは、訪問当日は障害児の存在がわからないほど、園児が自然体で接しているよう思われた。
--

A - 2 子育て支援

2-(1)	入所児童の保護者の育児支援
A-2(1)	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別相談などを行っている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時児童チェック表に、送迎時間・服装・伝達事項等を記載し、重要事項は全職員が周知できる体制がとれている。 	
A-2(1)	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・園児の家庭状況、保護者との情報交換は連絡帳などで行っている。情報交換の内容が必要な場合は、児童票に記録されている。 	
A-2(1)	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画により、保育参加等に参加しやすいように配慮されている。 ・保護者と共通理解を得るため、クラス懇談会や個別懇談等の場を設けている。 	
A-2(1)	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに保育所長まで届く体制になっている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から児童虐待の兆候がないか、保護者や園児に対して細心の注意をはらい、主任児童委員等に連絡し早期解決を目指している。 	

A - 2 (1)	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、子ども相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。
-------------	--

評価結果	A
------	---

- ・対象園児の対応については、関係機関と速やかに通告を行う体制が整備されている。

A - 2 (1)	一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。
-------------	---

評価結果	A
------	---

- ・一時保育は1日6人までとし、年齢に合わせたクラスに入り保育され、無理のない取り組みをされている。また、保育内容は連絡帳に記載され保護者との連絡をしている。
- ・一時保育においても、アレルギーに関して万全の配慮がされている。

総合評価 A

- ・日頃は、連絡帳を活用して園児の家庭状況等が把握されている。また、情報の記録は全職員が見てわかるように整備してある。
- ・虐待については早期発見に努め、全職員が「ほうれんそう」の意識をもち、関係機関への連絡等が迅速に対応できる体制が整っている。
- ・一時保育においては、基本的に通常保育と同じ方針でサービスの提供がされている。

A - 3 運営管理

3-(1)	安全・衛生管理
A-3(1)	事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。
評価結果	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応についてのマニュアルがある。職員研修にも積極的に派遣している。「防火管理者」資格習得講習会に参加し、園全体で有資格者 25%以上を目指している。 ・廊下に「5つのやくそく」が貼ってあり、年長さんが当番でこの約束を毎日放送し、子どもたちに事故の怖さも周知するなど安全安心に配慮している。
A-3(1)	事故防止のためのチェックリストがあり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。
評価結果	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止対策の実施状況については、常に素早い行動で最善の配慮をしている。 ・月1回の事故防止チェックリストで実施している。 ・各クラスにて安全教育事故防止対策を実施、P-D-C-A が機能している。
A-3(1)	食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。
評価結果	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市が定める「給食マニュアル」により、全職員に周知徹底している。 ・行政機関から食中毒情報が流され、即時全職員に周知し、対応を怠らないように努めている。
A-3(1)	調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。
評価結果	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生安全管理、事故防止、食中毒発生等マニュアルチェックリストに基づき、全職員に徹底している。 ・看護師による保育士指導を適宜行なうとともに、年 12 回業者によるゴキブリ退治駆除を全園舎内で実施するなど、適切な衛生管理に努めている。

A-3(1)	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルに基づいた不審者対応の防犯訓練を年 6 回実施するとともに、警察官による講習も受けている。 ・子どもたちや保護者に不審者の恐さやその場の対応の仕方を学び、安全教育に努めている。 	

<p>総合評価 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災管理者資格を職員に習得させるなど、安全管理を積極的に心掛け、緊急時の対応が素早くできるように努めている。 ・ボランティアの受け入れに当たっては、保険に加入するなどの事故対策をしている。保護者会の行事も常に安全確保に心がけ、保険に加入するなどの対策に取り組んでいる。 ・緊急連絡網では、家庭記録調査票に緊急連絡先を 1 番 2 番 3 番と優先順位を決めるなど細かな配慮がされている。 ・不審者情報は関係機関や近隣住民、小学校等から得られる体制が確立されている。安全管理面においても「華陽ブランド」をもとに保育園運営に努めている。
--

A - 4 個別サービス評価基準（岐阜県独自項目）

4-(1)	安全管理面でのサービス
A-4(1)	外部からの侵入に対する対応策がとられている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市が定める「不審者対応マニュアル」により実施している。 ・不審者の情報が、関係機関から FAX や電話でいった場合は、すぐに職員全員に連絡し、園内にも掲示し、保護者に注意を呼びかけている。 ・外部からの園内侵入に対する対応策がとられているなど、セキュリティがしっかりしている。 	
4-(2)	保護者とのコミュニケーション
A-4(2)	保護者の保育参観を促すような工夫をしている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・年間行事予定表を事前に保護者に配布し、保護者が保育参観に出席できるように配慮している。参観できなかった人には、連絡帳を活用したり、口頭で伝えたりしている。 	
A-4(2)	保護者会組織への活動の援助や意見交換を行っている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会の行事は全て保護者会が行い、ゲームやプレゼントを用意するなど楽しい雰囲気を実施している。 ・園長や主任が加わったりしながら、コミュニケーションを図ったり保護者支援をするなど、一緒に行事を楽しめるように努めている。 	
4-(3)	保育所・幼稚園・小学校との連携
A-4(3)	保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校が隣接し、開園当初から 2 年生による「保育所訪問」があり、園内交流を実施している。 ・5 歳児は就学前に小学校から招待され、歌の披露などで学校への期待が膨らませている。 	

総合評価 A

- ・ 保護者とのコミュニケーションでは、保護者が参加しやすい日程にあわせ個人懇談会を実施している。
- ・ 個人懇談では保護者の意見を聞いたり、クラスでの子どもの状況を伝えるなど、子どもの実態に合わせた懇談を開催している。
- ・ 保護者会の活動では園がお客様になり、保護者主体の運営で親子が参加しやすい行事をしている。
- ・ 小学校が隣接していることもあり、常に協力体制が整っている。基本理念と行動指針に基づいた園づくりがされている。